

まっさんと歩く

いなさやま 稲佐山 『夏★長崎から』

紫陽花の詩 コース



あじさい 紫陽花の詩
 紫陽花は、グレープの故郷、長崎の市花なんです。うっとおしい梅雨すら、まっとオブラードで包んでくれる花なんです。
 蘭学医シーボルトが、愛人楠本タキ（…おタキさん＝おらんだおいねの母）を想ってあじさいにつけた「ハイドラング・オタクサ」の学名は、余りにも有名です。でも子供の頃に親しんだ道って、大きくなくて久し振りに行ってみるとなんで狭く感じられるのでしょう。
 心がお腹をすかしてしまったら、僕は、この詩の通りに歩いてみるんです。

Em C Bm B2
 はたるやで 鳴滝までほ
 Am Em D B2
 中川抜けてく川端柳
 Em D C C#m G#m
 他人の心を胡麻化す様は
 C Em
 七つおたくさ あじさい花は
 Am Em D Bm
 おらんださんの顔き忘れ

思案橋から眼鏡橋
 今日は寺町 廻ってゆこうか
 それとも中通りを抜けてゆこうか
 雨が降るから久し振りに
 眼鏡橋からのぞいてみようか

南山手の弁天橋を
 越えて帰るは新地を抜けて
 出島の屋敷は雨ばかり
 むらさき 夕風 夢すだれ
 むらさき 夕風 夢すだれ

福壽寺
 聖福寺
 「解負」の撮影場所
 このあたりが花屋さん
 諏訪神社前
 お諏訪の森の奥は
 日見の峠を越えく
 グレ-プ「女郎花」より

長崎南手
雨やどり
 長崎市南山手町4-8
 ☎(095)824-6932
<http://homepage3.nifty.com/amayadori/>

かきかから
風頭公園
 風上げで有名
 119

彦山
 彦山の上に三日月〜 玲さんの「風待ち」より